

ID No.	1032
研究課題名	難治がんに対する複合的がん免疫療法とプレシジョン医療の開発研究
研究代表者	遠山 育夫 (滋賀医科大学・理事)
研究組織	
受入教員	釣田 義一郎 (東京大学医科学研究所・講師)
研究分担者	醍醐 弥太郎 (滋賀医科大学・教授) 寺本 晃治 (滋賀医科大学・特任講師) Tsevegjav Bayarbat (滋賀医科大学・大学院生) Zhu Ming (滋賀医科大学・大学院生) Regina Wachuka Mbugua (滋賀医科大学・大学院生) 湯治 晃一郎 (東京大学医科学研究所・特任准教授) 安井 寛 (東京大学医科学研究所・特任准教授) 高野 淳 (東京大学医科学研究所・特任講師)
研究報告書	
	<p>・難治がんに対するがんペプチドワクチンおよび複合的がん免疫療法とバイオマーカー開発</p> <p>複数の難治固形がんで高頻度・高レベルに発現するoncoantigenを同定してその臨床応用に向けた機能解析を実施した。また複数のがん関連分子や免疫チェックポイント分子等につき、発がん機構に関する詳細な機能解析やバイオマーカーとしての検証、がんワクチン療法の適応がん種拡大や複合免疫療法の開発に向けた検討を行った。これらの研究成果の一部については、第80回日本癌学会総会（8題）、第19回日本臨床腫瘍学会学術集会（6題）、第66回日本人類遺伝学会大会（6題）等で発表した。がんプレシジョン医療の開発に向けたバイオマーカー研究を進め、国際学術誌に論文発表した（5報：成果発表参照）。</p>